資料４

日本スポーツマスターズ2022岩手大会
開会式（前夜祭）催行業務

プロポーザル審査要領

令 和 ４年 ５月

公益財団法人日本スポーツ協会
日本スポーツマスターズ2022岩手大会実行委員会

この「プロポーザル審査要領」は、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「ＪＳＰＯ」という。）及び日本スポーツマスターズ２０２２岩手大会実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する「日本スポーツマスターズ２０２２岩手大会開会式（前夜祭）催行業務」（以下「本業務」という。）に係る委託候補者を選定するために行うプロポーザルの提案審査について必要な事項を定めるものである。

１　審査機関

本業務にかかるプロポーザルの審査は、「日本スポーツマスターズ２０２２岩手大会開会式（前夜祭）催行業務委託事業者選定審査会」（以下「審査会」という。）において行うものとする。

２　審査項目及び配点

審査項目及び配点は次のとおりとする。

審査項目	審査の観点	配点	
基本的事項 ［目的及び業務内容の理解］	業務の目的を正確に理解しているか。	5	10
	提案内容が仕様書に沿っているか。	5	
企画提案内容 ［目的達成のための創意工夫］	【企画・運営・管理】 本業務の目的を十分に理解し、本県の魅力と復興の姿を発信しつつ参加者が楽しむことができるような提案となっているか。	30	80
	【会場の設営、装飾】 式典の盛り上がりに寄与するようなレイアウト、デザインであるとともに、参加者が等しく情報を享受できるような内容となっているか。	10	
	【アトラクションの演出、映像、司会者等】 提案内容に的確性、具体性があり、業務の目的に沿った演出となっているか。	30	
	【自由提案】 業務の目的に資する、魅力的な提案が数多く盛り込まれているか。	10	
業務履行能力関係 ［業務遂行能力］	業務を確実に履行できる実施体制が構築されているか。	5	10
	過去の実績等から、充分な業務実施能力があるか。	5	
			100

３　審査方法

⑴　審査は、プロポーザルに参加する者（以下「参加者」という。）から提出された企画提案書等及びプレゼンテーションについて、以下の審査基準に基づいて行う。

⑵　審査会は、企画提案書等及びプレゼンテーションに基づき、個別の審査項目ごとに評価・採点を行い、委員ごとに上位３位まで順位点（1位＝5点、2位＝3点、3位＝1点）を付し、それを合計した総得点により順位を付けて実行委員会に報告する。

なお、総得点が同点の場合には、高い順位の票を多く得た者を上位者とし、高い順位の票が同数の場合には、審査委員において合議のうえ順位を決定するものとする。

⑶　参加者が１者のみであった場合にも、審査会において企画提案書及びプレゼンテーシ

ョンに基づく審査を行い、本業務を実施するにふさわしいか否かを評価する。

(4) 審査会は、提案内容の詳細の再確認を要すると認められる場合などにより、審査会の開催日において、順位の決定又は(3)に定める評価の決定に至らなかった場合においては、後日、再度審査を行い順位等を決定するものとする。

この場合、持ち回りによって審査、決定することもできるものとする。

(5) 審査会は、順位に関わらず、いずれの企画提案も本業務を実施するにふさわしくないと認められる場合には、その旨の評価を付して実行委員会に報告するものとする。

(6) 審査会は、順位を決定するに当たり、本業務の執行に関しての意見を付すことができる。

４　受託者の選定

実行委員会は、審査会の審査結果を参考に、受託候補者を選定する。

５　審査結果の通知

審査結果は、受託候補者の選定後、速やかに参加者に文書等で通知する。